

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 6 部門第 3 区分
 【発行日】平成21年3月5日(2009.3.5)

【公開番号】特開2007-200188(P2007-200188A)
 【公開日】平成19年8月9日(2007.8.9)
 【年通号数】公開・登録公報2007-030
 【出願番号】特願2006-20435(P2006-20435)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 3/033 (2006.01)

【 F I 】

G 0 6 F 3/033 3 1 0 Y

【手続補正書】

【提出日】平成21年1月21日(2009.1.21)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

検出面を有する複数のコイルからなるセンサ部と、
 少なくとも一のコイルを有する操作子と、

前記操作子を前記センサ部の検出面に沿って移動可能に支持するとともに、前記センサ部と前記操作子との各々が内蔵するコイルの間に生じる電磁的結合に基づいて、前記検出面に対する前記操作子の絶対位置として前記操作子の移動を検出する位置検出手段と、
 を備えたことを特徴とするリモコン装置。

【請求項 2】

前記操作子は、前記検出面に重ねて配設される平板部と、この平板部に立設された操作突起部とから構成されることを特徴とする請求項 1 記載のリモコン装置。

【請求項 3】

前記操作子は、前記平板部と前記操作突起部との間に、前記検出面に対し垂直方向に操作されて動作するスイッチ部を更に備えた、
 ことを特徴とする請求項 2 記載のリモコン装置。

【請求項 4】

前記操作突起部の上面が曲面で構成された、
 ことを特徴とする請求項 2 または 3 記載のリモコン装置。

【請求項 5】

前記平板部と前記検出面との間に、前記平板部を前記検出面に対して移動させる際に所定の摩擦を生じる摩擦層を介設した、
 ことを特徴とする請求項 2 から 4 のいずれかに記載のリモコン装置。

【請求項 6】

前記平板部と前記検出面との間に、前記平板部を支持しつつ前記平板部の移動時に転動する転動支持部を設けた、
 ことを特徴とする請求項 2 から 5 のいずれかに記載のリモコン装置。

【請求項 7】

前記操作子を、前記検出面に沿って所定方向および当該所定方向に直交する方向にスライド可能に支持する支持機構を設けた、
 ことを特徴とする請求項 1 から 6 のいずれかに記載のリモコン装置。

【請求項 8】

請求項 1 から 7 のいずれかに記載の位置入力装置と、
前記位置入力装置により検出された前記操作子の位置を示す信号を無線送信する無線送信手段と、
を備えたことを特徴とするリモコン装置。

【請求項 9】

中空部を有する本体を有し、この本体の一面には前記中空部に連通する穴が設けられ、
前記位置入力装置のセンス部が前記中空部に収容され、かつ、前記位置入力装置の操作子の少なくとも一部が前記中空部に連通する穴から露出する、
ことを特徴とする請求項 8 記載のリモコン装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】リモコン装置

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 1】

本発明は、位置入力操作を行うためのリモコン装置に関する。